#### 日本社会教育学会

## 第65回研究大会プログラム

JAPAN SOCIETY for the STUDY of ADULT and COMMUNITY EDUCATION: the 65th Annual Conference

#### 会 場 名 桜 大 学 (沖縄県名護市字為又 1220-1)

#### 日 時 2018年10月5日(金)~7日(日)

10月				12:30~	13:	00 ∼ 15 : 30	16:00~17:30	18:00~
<u>5</u> <sub>日</sub> 金				受付	「地域づ	<b>ジェクト研究</b> くりと社会教育」 自由』と社会教育」	倫理研修会	全国理事会 若手研究者の つどい
6 <sub>日</sub> 土	9:00~	9:30~11:30		12:30	~ 14:30	14:45 ~ 16:45	5   17 : 00 ∼ 18 :	30 18:45 ~ 20:45
	受付	自由研究発表	昼食	自由研	F究発表	会場校企画	総会	懇 親 会
<b>7</b> <sub>目</sub>	9:00~	9:30~12:00		54	フンドテー	- ブル		·
	受付	プロジェクト研究 「ワークライフバラン 時代における社会教	- ス   <sub>層</sub>	1	(13:00~15:00) エクスカーション			
		特別企画		(12:	エクスガーノョン 12:50 集合~ 17:00 那覇空港着予定)			

\*会員の研究大会への参加は、事前申込みが必要です。3ページをご覧ください。 非会員は当日受付 一般・大学院生 2,500 円、大学生(学生証提示) 1,000 円

【目次】					
◇第 65 回研究大会・ご案内	2				
◇第 65 回研究大会・申込み方法	3				
◇会場案内					
名護市内へのアクセス/名護市内から名桜大学へのアクセス	4				
名桜大学内建物配置図/会場一覧	6				
学生会館サクラウム・講義棟案内図	8				
◇第1日目(10月5日)プログラム					
プロジェクト研究「地域づくりと社会教育」「『学習の自由』と社会教育」	10				
倫理研修会/全国理事会/若手研究者のつどい	11				
◇第2日目(10月6日)プログラム)					
自由研究発表 第 1 室~ 11 室	12				
会場校企画「やんばるの地域課題と社会教育」	23				
総会/懇親会	23				
◇第3日目(10月7日)プログラム					
プロジェクト研究「ワークライフバランス時代における社会教育」	24				
特別企画「公立社会教育施設の所管問題をめぐって」	24				
エクスカーション/ラウンドテーブル①~⑨	25				

### ■ご案内

#### (1) 受付•参加者控室

①受付設置場所·時間

1日目(10/5) 12:30~ 多目的ホール 1階玄関

2日目(10/6)、3日目(10/7) 9:00~ 講義棟1階ピロティ

②参加者控室

1日目 (10/5) サクラウム 6階 スカイホール B

2日目 (10/6)、3日目 (10/7) 講義棟 1階 111 教室 \*敷地内禁煙です

#### (2)参加費等

①参加費

会 員:事前申込み・事前支払 一般 2,500 円、大学院生 1,500 円

非会員:当日受付・当日支払 一般・大学院生 2,500 円、大学生 1,000 円(学生証提示)

②懇親会費(10/6)

一般: 4.000 円、大学院生・学生: 2.000 円

※事前申込み、会費は当日支払い。

(会員の申込みは3ページ参照、非会員はメールで下記(4)問い合せ先①へ)

③エクスカーション参加費(10/7)

参加費:3,000円(定員20名、参加希望者多数の場合は抽選)

※事前申込み、参加費は当日支払い。

(会員の申込みは3ページ参照、非会員はメールで下記(4)問い合せ先①へ)

④昼食(10/5~10/7)

学会開催中、学食利用可(11:30~13:30、但し6・7日はメニュー限定)。 サクラウム 2 階のカフェ(11:00~14:00、焼き立てパン・飲み物等)も利用可。 ※会場でのお弁当販売はありません。

#### (3) その他

- ・発表者は、当日配布資料がある場合、<u>会場でのコピーは出来ません</u>ので、事前に十分な部数(約50部)をご用意下さい。
- ・準備の都合上、事前申込後のキャンセルの場合(台風等の天災による場合も)返金には応じられませんのでご了承ください。
- ・自由研究発表をされる方は、要旨の提出をお忘れなくお願いします。

要旨提出期間:8月1日~8月31日(〆切厳守)

提出先:学会HP会員サイトログイン後の<要旨投稿システム>にて提出

・台風来襲に伴う対応については、学会 HP に掲載いたしますので、そちらをご確認ください。

#### (4) 問い合わせ先

①大会全般、申込み、当日連絡など

日本社会教育学会事務局

E-mail: jssace.office@gmail.com(原則メールでのお問い合わせをお願いします)電話: 090-5872-1848(月・木曜日  $11:00\sim16:00$ 、大会当日も対応)

②会場校

嘉納英明 (名桜大学教員)

E-mail: kano@meio-u.ac.jp (原則メールでのお問い合わせをお願いします)

電話:090-9785-4321

〒 905-8585 沖縄県名護市字為又 1220-1 名桜大学

### ■申込み方法

会員の大会参加は、事前申込み・振込みのみとさせていただきます。 以下、(1)(2)の手順でお申込みをよろしくお願い致します。

#### (1) オンライン上で参加登録手続きをする (8月6日~9月15日まで)

- ① 学会ホームページ (http://www.jssace.jp/) から
  - ・左側中央の「会員サイトログイン」から、IDとパスワードを入力してログイン (IDとパスワードが分からない方は、「パスワード再発行」へ)
  - ・ログインしたら「研究大会参加申込みシステム」より参加登録手続きを行う。
  - ・懇親会(10/6)、エクスカーション(10/7)の参加希望者は一緒に申込む。
  - ・「手続き完了」画面で、参加費の振込先が明示されます。
- ② ①が出来ない方は、
  - ・メールで「大会参加申込み」というタイトルで、お名前、ご住所、所属、懇親会参加の 有無、エクスカーション参加希望者はその旨を記載の上、下記にご連絡ください。
  - ·送付先 E-mail: jssace.office@gmail.com
  - ・折り返しメールで振込先をお知らせします。

#### (2) 参加費を振込む (9月20日まで)

- (1)の手続きが終了した方は、参加費(一般 2,500 円、大学院生 1,500 円)を振込んでください。
  - ※懇親会費、エクスカーション参加費の支払いは当日になります。
  - ※参加費の領収書が必要な方は、当日受付にてお渡しします。
  - ※事前申込後のキャンセルの場合(台風等の天災による場合も)返金には応じられませんので ご了承ください。

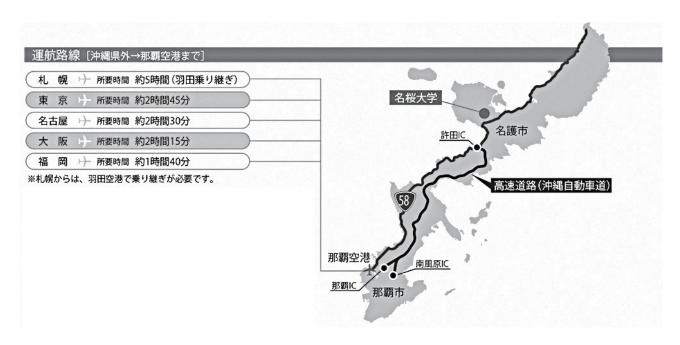
#### 【申込み方法についての問い合わせ先】

日本社会教育学会事務局

E-mail: jssace.office@gmail.com (原則メールでのお問い合わせをお願いします)

電話:090-5872-1848 (月・木曜日11:00~16:00、8/13・16と祝祭日は休み)

### ■名護市内へのアクセス



#### ≪那覇空港 → 名護市内まで≫

- ○高速バス
  - ・那覇空港到着ロビーを出て、左手のバス乗り場から高速バス 111 番に乗車します。 [終点の名護バスターミナルまで]所要時間:約1時間45分、バス乗車料金:2,190円
  - ・那覇空港到着ロビーを出て、左手のバス乗り場から高速バス 117 番に乗車します。 [途中の名護バスターミナルまで] 所要時間:約1時間30分、バス乗車料金:2,190円
- ○やんばる急行バス
  - ・那覇空港到着ロビーを出て、左手のバス乗り場から、やんばる急行バスに乗車します。 [名護市役所前まで] 所要時間:約1時間45分、バス乗車料金:1,600円 ※名護市役所前で下車すると、名護市内のホテルや名桜大学にタクシーでアクセスが可能です。
- ○タクシー
  - ・那覇空港到着ロビーを出て、右手の遠距離タクシー乗り場から乗車します。

[名桜大学まで] 所要時間:約1時間30分~2時間

普通車の場合:料金約 13.000 円~ 15.000 円

※上記のタクシー料金には沖縄自動車道料金は含まれておりません。

※普通車初乗り530円~550円(1.75kmまで)以降372m~386mごとに70円加算

(2016年11月1日改定料金適用)

#### ○レンタカーなどお車での移動

・那覇空港近隣のレンタカー各社からは、西海岸を延びる国道 58 号を北上するコースと沖縄自動 車道を利用する方法があります。

一般道路(国道 58号)の場合

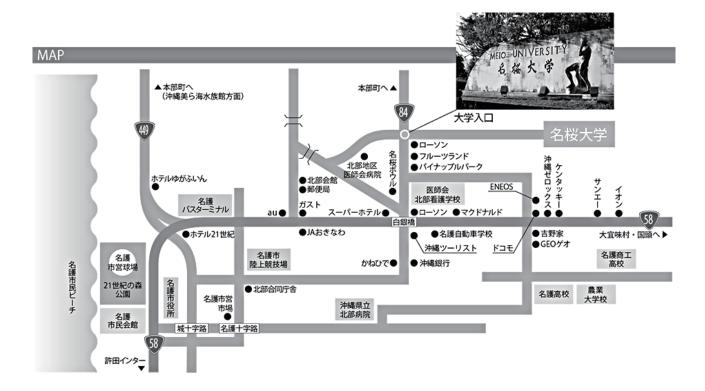
沖縄自動車道の場合

所要時間:約2時間

所要時間:約1時間30分

那覇 IC ~許田 IC までの高速料金:約 1000 円

### ■名護市内から名桜大学へのアクセス



#### ≪名護バスターミナル → 名桜大学まで≫

□路線バス 名護バスターミナルから名桜大学まで、路線バスに乗車します。

所要時間:約22分 料金:390円

□タクシー 名護バスターミナルから名桜大学まで、タクシーに乗車します。

所要時間:約10分 普通車の場合:料金約880~900円

□送迎バス 名桜大学の無料送迎バスが市内を運行しています。

※土・日曜日の運行を試験的に行っています。試験運用実施期間、時刻表等は大学 HP でご確認下さい。(但し、祝日・夏季・冬季・春季休業中等、大学休学時は運休します)

#### □レンタカーなど車での移動

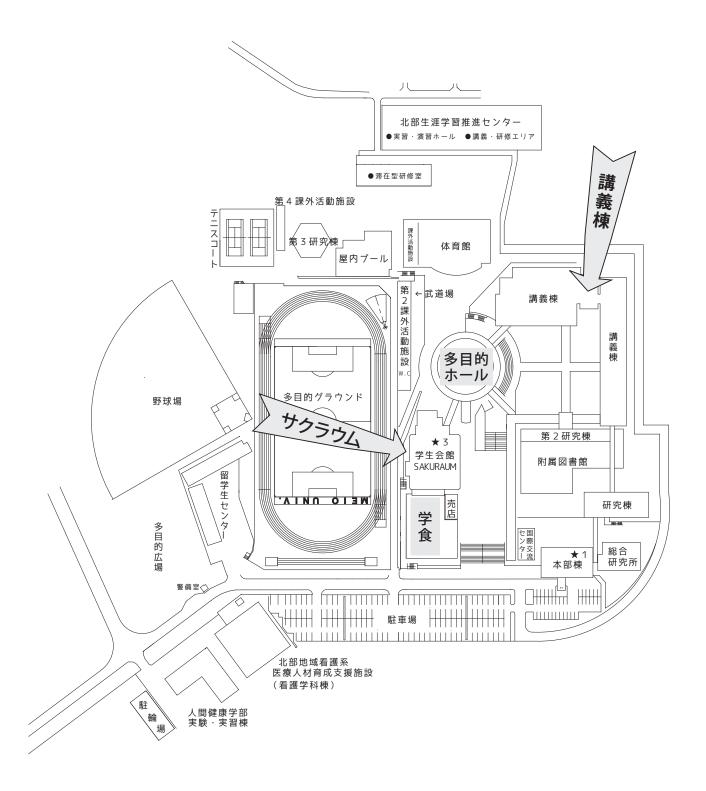
名護市内から名桜大学までは、国道 58 号線を北上し、白銀橋交差点を左折して約 2km 程度直 進すると右方向に本学入口の案内表示が出ています。

#### ≪周辺のコンビニ情報≫

学内の売店は、10月5日(金)のみ営業です。

周辺のコンビニは、ローソン名桜大学前店です(大学正門から 1.2km の距離)。

### ■名桜大学内建物配置図



### ■会場一覧

#### 10月5日(金) 受付 多目的ホール 玄関

参加者控室 サクラウム 6階 スカイホール B

プロジェクト研究〈第1室〉 サクラウム 3階 大講義室 A

プロジェクト研究〈第2室〉 多目的ホール

倫理研修会サクラウム3 階 大講義室 A全国理事会サクラウム6 階 スカイホール A若手研究者のつどい講義棟2 階 212 講義室

#### 10月6日(土) 受付 講義棟 1階ピロティ

参加者控室 講義棟 1 階 111 講義室 2階 201 講義室 自由研究発表 第1室 // 自由研究発表 第2室 // 〃 205 講義室 自由研究発表 第3室 〃 209 講義室 // 自由研究発表 第4室 // 〃 210 講義室 自由研究発表 第5室 〃 211 講義室 // 自由研究発表 第6室 〃 212 講義室 // 自由研究発表 第7室 3階 301 講義室 // 自由研究発表 第8室 〃 302 講義室 // 自由研究発表 第9室 〃 304 講義室 // 自由研究発表 第10室 〃 305 講義室 // 自由研究発表 第11室 " 〃 306 講義室 会場校企画 サクラウム 3階 大講義室 A 総会 大講義室 B 懇親会 6階 スカイホール A

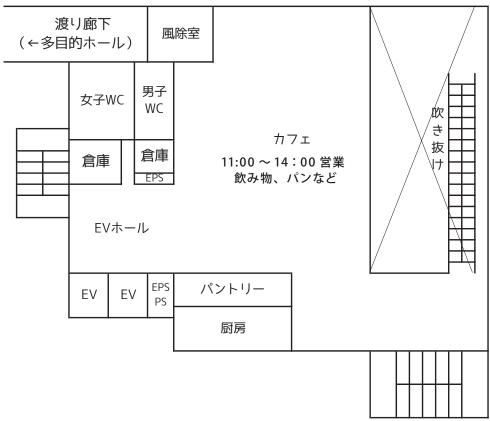
#### 10月7日(日) 受付 講義棟 1階ピロティ

参加者控室	講義棟	1階 111 講義室
プロジェクト研究	//	1階 110 講義室
特別企画	//	1階 109 講義室
ラウンドテーブル①	//	2階 201 講義室
ラウンドテーブル②	//	2階 205 講義室
ラウンドテーブル③	//	2階 209 講義室
ラウンドテーブル④	//	2階 210 講義室
ラウンドテーブル⑤	//	2階 211 講義室
ラウンドテーブル⑥	//	2階 212 講義室
ラウンドテーブル⑦	//	3階 301 講義室
ラウンドテーブル⑧	//	3階 302 講義室
ラウンドテーブル⑨	//	3階 304 講義室
エクスカーション	名桜大学	卢内 12:50 集合

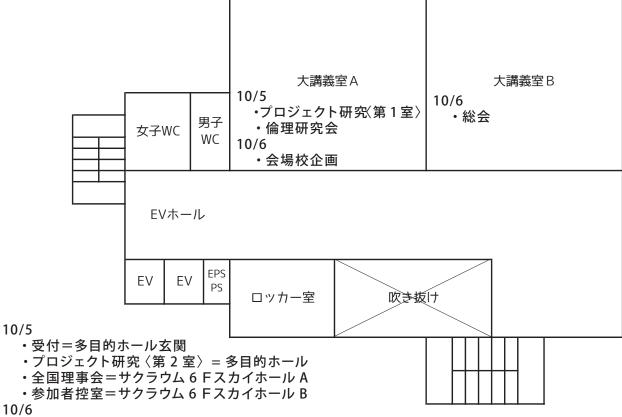
13 時名桜大学発~17 時那覇空港着(予定)

### ■学生会館サクラウム(SAKURAUMU)案内図

2 F

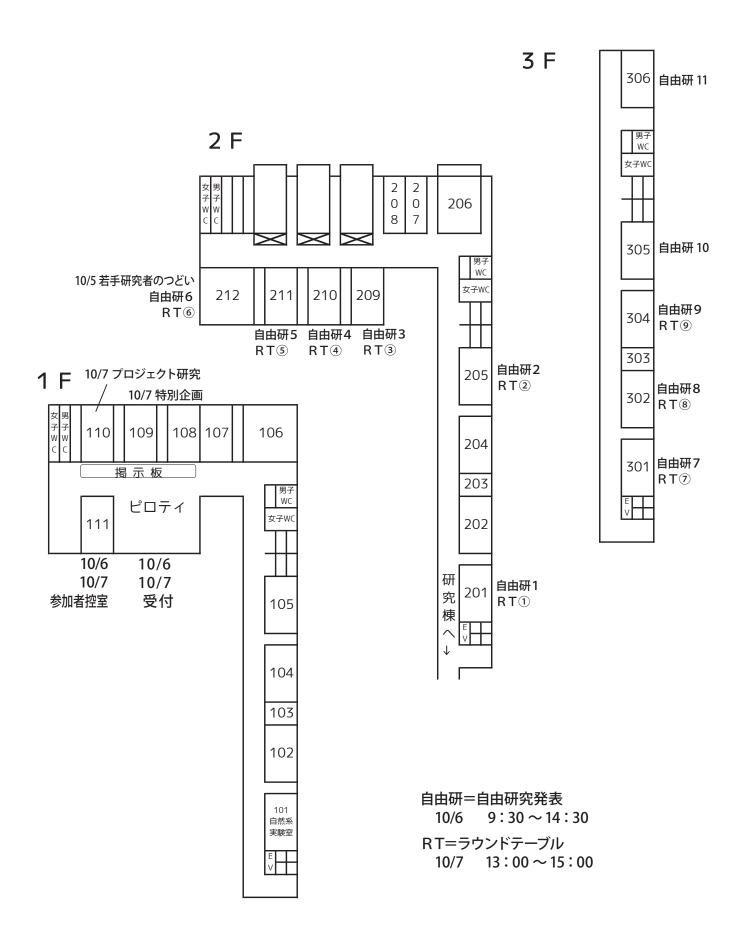


3 F



・懇親会=サクラウム 6 Fスカイホール A

### ■講義棟 案内図



### 第1日目 10月5日(金)

### プロジェクト研究〈第1室〉

「地域づくりと社会教育」

13:00~15:30 サクラウム3階大講義室 A

テーマ 「地域づくりと社会教育の概念・価値の再検討(2)」

司 会 大高 研道 (明治大学)、岡 幸江 (九州大学)

報告① 「日常的実践における知の再構成 一地域社会教育の学習論・試論ー」 宮﨑 隆志(北海道大学)

報告② 「受動と能動の間 ーいわゆる主体をめぐる実践からの検討ー」 牧野 篤 (東京大学)

コメンテーター 小栗 有子 (鹿児島大学)、添田 祥史 (福岡大学)

### プロジェクト研究〈第2室〉

「『学習の自由』と社会教育」 13:00~15:30 多目的ホール

テーマ 「公民館の自由と自治を捉え直す」

司 会 安藤 聡彦(埼玉大学)

報告① 「公民館の自由と自治;公民館紛争判例研究を通して考える」

谷 和明(東京外国語大学名誉教授)

報告② 「自治と協同の地域づくり

一国頭村与那地区交流拠点施設「よんな~館」(旧与那公民館)の取り組みから」 大城 靖(国頭村役場・ユナムンダクマ協議会事務局長)

報告③ 「公民館における自由と自治の論点 一公民館主事の観点から一」 上野 景三(佐賀大学)

### 倫理研修会

16:00~17:30 サクラウム3階大会議室 A

テーマ「『アメラジアン・スクール・イン・オキナワ』の実践に学ぶ」

第1部 講演「アメラジアンの子どもたちの支援活動とその背景」

講師トランパス・ウィリアム(アメラジアン・スクール・イン・オキナワ校長)

第2部 対話形式の質疑応答

聞き手 添田 祥史(福岡大学)

### 全国理事会

18:00~ サクラウム6階 スカイホール A

### 若手研究者のつどい

18:00~ 講義棟 2階 212 教室

#### 第2日目 10月6日(土)

### 自由研究発表

午前 9:30~11:30/午後 12:30~14:30 講義棟

(共同研究者は○印が登壇者)

#### 第1室 午前 原理論・歴史

2階 201 講義室

司 会 上野 景三(佐賀大学)

9:30~9:55 棄民政策下の生活形成における技術学習の生成とその意味

-戦時から1973年頃、北海道・根釧原野-

阿知良 洋平(室蘭工業大学)

9:55~10:20 沖縄シマ社会の罰札制度と社会教育

井谷 泰彦(国士舘大学・非常勤)

10:20~10:45 戦後地方文化運動の実証的研究(その3)

―北海道における「ふだん記」各地グループを対象として―

川原 健太郎(早稲田大学・非常勤)

10:45~11:25 奄美・琉球の戦後青年団機関誌と祖国復帰運動の関係

○山城 千秋(熊本大学)、○農中 至(鹿児島大学)

(討議 11:25~11:45)

#### 第1室 午後 原理論・歴史

2階 201 講義室

司 会 手打 明敏(筑波大学名誉教授)

12:30~12:55 高度経済成長期における都市青年の社会運動

大山 宏(東京大学大学院)

12:55~13:45 高度経済成長期社会教育史研究(1)

- 長野県阿智村公民館に見る地域変貌と住民の学習-

○辻 浩(名古屋大学)、竹井 沙織(名古屋大学大学院)、

大村 隆史(名古屋大学大学院)、〇王 倩然(名古屋大学大学院)、

○張 苑菁(名古屋大学大学院)、河野 明日香(名古屋大学)

13:45~14:10 高度成長期における団地の社会教育と社会調査

一都市住民における集団、共同性形成の契機に注がれた視線

久井 英輔(広島大学)

#### 2階 205 講義室

司 会 小栗 有子(鹿児島大学)

9:30~9:55 『図書館教育』からみる田中敬の図書館教育論

一沢柳政太郎の地方文化発展論を手がかりに一

石川 賀一(別府大学)

9:55~10:20 法政大学博物館研究会時代の伊藤寿朗の博物館論の再考察

- 発見された卒業論文資料を手がかりに-

栗山 究(早稲田大学・非常勤)

10:20~10:45 蔡元培の「美育」理論とそれに関わる人物に関する研究

-王国維と魯迅に注目して-

詹 瞻(東京大学大学院)

10:45~11:10 戦後日本における「独学」の思想-映画評論家・佐藤忠男の教育論 花田 史彦(京都大学)

(討議 11:10~11:30)

#### 第2室 午後 原理論・歴史

2階 205 講義室

司 会 上原 直人(名古屋工業大学)

12:30~13:10 戦後地域社会教育と農業改良普及事業との協働に関する研究(3)

- -生活改良普及員OGの語りからみた協働の実態-
  - ○安藤 耕己(山形大学)、藤田 美佳(奈良教育大学)、

松本 大(弘前大学)、〇竹淵 真由(下諏訪町教育委員会)

13:10~13:35 ユネスコの基礎教育(Fundamental Education)における共通性と多様性 河内 真美(金沢大学)

13:35~14:00 戦後長野県下伊那地方における「学校と家庭の連絡」

-新教育の理解を視点として-

山梨 あや (慶應義塾大学)

司 会 野元 弘幸(首都大学東京)

9:30~9:55 伝承の子育てにおける応答の知とその多層性をめぐって

岡 幸江(九州大学)

9:55~10:20 当為としての教育学的価値と労働に関する研究

西川 昇吾(東京大学大学院)

10:20~10:45 SDGs4 に向けたノンフォーマル教育の課題

-西欧主導型生涯学習政策への批判的検討から-

秦 範子(都留文科大学・非常勤)

10:45~11:10 自己教育における時、空間の統合の研究(3)

-フィールド研究とライフヒストリーを結ぶもの

○前平 泰志(畿央大学)、生駒 佳也(徳島市立高校)、

猿山 隆子(京都造形芸術大学・非常勤)、鎹 純香(相愛大学)

(討議 11:10~11:30)

#### 第3室 午後 学習文化活動

2階 209 講義室

司 会 大高 研道(明治大学)

12:30~12:55 運動を切り拓く生活記録を創るということ

ー鶴見和子の「生活をつづる会」における生活記録の表現方法をめぐって**ー** 

猿山 隆子(京都造形芸術大学・非常勤)

12:55~13:35 被差別部落における識字学級を通した学習と成長のプロセス

○菅原 智恵美(大阪市立大学大学院)、○森 実(大阪教育大学)

13:35~14:00 先住民女性の尊厳の回復と実践コミュニティ

矢内 琴江(早稲田大学)

#### 第4室 午前 学習文化活動

#### 2階 210 講義室

司 会 久保田 治助(鹿児島大学)

9:30~9:55 西表島における移住した若者のエコツーリズム協会とのかかわりと社会的自立

内田 弘(北海道大学大学院)

9:55~10:20 身体にともなう歴史性の観点からの主体形成論の問い直し

須藤 誠(東京大学大学院)

10:20~10:45 移住高齢者支援団体における当事者主体の運営の意義と課題

朴 賢淑 (岩手大学)

10:45~11:10 社会教育論における主体性の再考:教育支援をめぐる議論を手がかりに

正木 遥香(大分大学)

(討議  $11:10 \sim 11:30$ )

#### 第4室 午後 学習文化活動

2階 210 義室

司 会 呉 世蓮(早稲田大学・非常勤)

12:30~12:55 学校空間におけるアート活動によるノットワーキングについて:

Socially Engaged Art の視点から

蔡 越先(北海道大学大学院)

12:55~13:20 アメリカ合衆国のミュージアムにおける教育普及活動の料金設定

一社会的に不利益を被っている子ども・若者への支援に着目して一

瀧端 真理子(追手門学院大学)

13:20~13:45 高齢者インプロ実践におけるファシリテーターの熟達プロセス

園部 友里恵 (三重大学)

(討議  $13:45 \sim 14:05$ )

司 会 小林 洋司(日本福祉大学)

9:30~9:55 生活困難を抱える親の地域参加による学びのプロセス

相戸 晴子(宮崎国際大学)

9:55~10:20 地域子育て支援拠点における親とスタッフの子ども理解と親理解の展開過程

榊 ひとみ (函館短期大学)

10:20~10:45 1980 年代英国における家族主義政策と障害者成人教育の相克

- City Literary Institute 職員への聞き取り調査を踏まえて-

橋田 慈子(筑波大学大学院)

10:45~11:10 親が育ち合うコミュニティに関わる一考察

丸山 美貴子(北海道大学)

(討議 11:10~11:30)

#### 第5室 午後 学習文化活動

2階 211 講義室

司 会 内田 和浩(北海学園大学)

12:30~12:55 青年期教育におけるサークル性の再検討

木下 卓弥(北海道大学大学院)

12:55~13:20 社会参加を探求する講座実践の研究

近藤 牧子(早稲田大学・非常勤)

13:20~13:45 移住女性の "#MeToo" 行動と社会参与

-韓国移住女性人権センターにおける実践を踏まえて

藤田 美佳(奈良教育大学)

13:45~14:10 韓国における子育ての場としての地域社会の考察

松尾 有美(東京大学大学院)

#### 第6室 午前 学習文化活動

#### 2階 212 講義室

司 会 田所 祐史(京都府立大学)

9:30~10:10 「都市型中間施設」における若者実践とネットワーク支援

―東京都国立市の事例を手がかりに―

○井口 啓太郎(文部科学省)、○島本 優子(徳島市役所)

10:10~10:35 若者支援施設のロビー空間における利用者の経験

大津 恵実(北海道大学大学院)

10:35~11:00 社会教育研究における「地方」の若者へのアプローチの可能性

丹田 桂太(東京大学大学院)

(討議  $11:00 \sim 11:30$ )

#### 第6室 午後 学習文化活動

2階 212 講義室

司 会 佐藤 一子(東京大学名誉教授)

12:30~13:20 職業人生を振り返る/見通す学習

- ―キャリアヒストリー法の課題と可能性
  - ○犬塚 典子(田園調布学園大学)、○池田 雅則(兵庫県立大学)、
  - ○種村 文孝(京都大学)、○池田 法子(足利短期大学)、

渡邊 洋子(新潟大学)

13:20~13:45 職場越境者の学びの様態

一多様な実践共同体に参加する看護師を例に

尾﨑 優子(神戸常磐大学)

13:45~14:10 働く若者たちの生活と学習

―高度経済成長期の地方都市の事例から―

辻 智子(北海道大学)

司 会 髙井 正(立教大学)

9:30~9:55 カナダにおける難民支援と教育

—Centre for Refugee Studies の取り組みを中心に—

藤村 好美(獨協大学・非常勤)

9:55~10:20 スウェーデンにおけるソスペッド(Social Pedagogue)の専門性に関する研究:

ソーシャルワーカーとの比較から

松田 弥花(高知大学)

10:20~10:45 社会教育主事のキャリア形成支援と社会教育観に関する考察

浅野 秀重(金沢大学)

10:45~11:10 認知症者に優しい生涯学習関連施設のあり方に関する一考察

―諸外国の実践事例にみる図書館の優位性―

鈴木 尚子(徳島大学)

(討議 11:10~11:30)

#### 第7室 午後 学習機会

3階301講義室

司 会 佐藤 智子(東北大学)

12:30~12:55 公共ホール整備を求める運動と社会教育行政

堀本 暁洋(東京大学大学院)

12:55~13:20 図書館活動の拡張に関する実証的検討

戦後八幡市における移動図書館と移動児童館を中心に一

石川 敬史(十文字学園女子大学)

13:20~13:45 金沢市の善隣館実践における方面委員の役割

一教育的側面に注目して

大村 隆史(名古屋大学大学院)

13:45~14:10 再媒介活動としてのアート

宮﨑 隆志(北海道大学)

#### 第8室 午前 学習機会

#### 3階302講義室

司 会 上田 幸夫(日本体育大学)

9:30~9:55 社会教育施設における防災・避難者対応の現況調査

-和歌山県南紀熊野地区を中心に-

西川 一弘(和歌山大学)

9:55~10:20 日本における複合施設の現状と課題

林 忠賢(東京大学大学院)

10:20~10:45 大学博物館が所蔵する学術標本を利用した教育活動に関する一考察

―日英大学博物館の比較から―

山本 桃子(早稲田大学大学院)

(討議 10:45~11:05)

#### 第8室 午後 学習機会

3階302講義室

司 会 村田 晶子(早稲田大学)

12:30~12:55 大学生涯学習の現代的意義に関する考察

村田 和子(和歌山大学)

12:55~13:20 生涯学習プラットフォームとしての仕組みづくりと大学開放

一地域のおける学習活動と新たな大学の社会教育支援一

藤田 公仁子(富山大学)

13:20~13:45 生涯学習における大学の役割

○朴 仙子(岩手大学)、朴 賢淑(岩手大学)

(討議  $13:45 \sim 14:05$ )

司 会 古里 貴士(東海大学)

9:30~9:55 奄美大島の公民館における島唄講座成立のプロセスに関する考察

杉浦 ちなみ (石巻専修大学)

9:55~10:20 動物園における市民による環境学習プログラムの実践と課題

河村 幸子(東京農工大学大学院)

10:20~10:45 韓国における生涯学習社会を支える資格制度

-折り紙教育システムを事例として-

松浦 英子(東洋大学大学院)

10:45~11:10 ひきこもりに関する若者支援活動の生成と変容

○松本 大(弘前大学)、廣森 直子(青森県立保健大学)、

小林 建一(秋田県立大学・非常勤)

(討議 11:10~11:30)

#### 第9室 午後 政策・運動

3階304講義室

司 会 姉崎 洋一(北海道大学名誉教授)

12:30~12:55 首長部局所管の公民館における事業運営の実態と行政支援の課題

―福岡市校区公民館の事業予算運用を事例に―

李 培涵 (九州大学大学院)

12:55~13:20 学校統廃合の実施前後にみる地区公民館の役割変化

丹間 康仁(帝京大学)

13:20~13:45 青少年向けメンタリング・プログラムの成果と評価

渡辺 かよ子 (愛知淑徳大学)

13:45~14:10 フェアトレードタウン逗子における市民協働のまちづくり

岩本 泰 (東海大学)

#### 第10室 午前 地域•地域問題

#### 3階305講義室

司 会 柴田 彩千子(東京学芸大学)

9:30~9:55 公営団地における就学前の子育て家庭と支援者との関係

井上 大樹(札幌学院大学)

9:55~10:20 学校参加論の構造と課題

大野 公寛(東京大学大学院)

10:20~10:45 村づくりと学校 - 奄美宇検村安室校区の親子留学より-

神田 嘉延(鹿児島大学名誉教授)

10:45~11:10 地方の若者の家族観とキャリア選択への影響

廣森 直子(青森県立保健大学)

(討議 11:10~11:30)

#### 第10室 午後 地域・地域問題

3階305講義室

司 会 李 正連(東京大学)

12:30~12:55 社会の構造変化からみた学校と地域の連携・協働政策の課題

-学校区の社会経済的背景の多様性に着目して-

入江 優子(東京学芸大学)

12:55~13:20 文化的雑種性と文化資本形成に関する研究:

地方都市における文化資本の階級世代間移動への影響に関する一考察

亀井 あかね (東北工業大学)

13:20~14:10 韓国の「もうひとつの学校」 ~地域 (マウル) とともにある学校づくり・

学びづくり・人間づくりの3つの代案学校の事例に着目して

○宋 美蘭(北海道大学)、○若原 幸範(聖学院大学)、

○吉岡 亜希子(北海道文教大学)、○河野 和枝(北星学園大学)

司 会 大安 喜一 (ユネスコ・アジア文化センター)

9:30~9:55 貧困をテーマとする開発教育の目標の検討

一ケイパビリティ論を手がかりに

青沼 由衣(早稲田大学大学院)

9:55~10:20 成人教育に関する国際的運動の展開におけるリージョン組織の意味

- 国際成人教育協議会及びそのリージョン組織の発展過程を事例として-

荒井 容子(法政大学)

10:20~10:45 災害の語り部の自己形成過程としての学びに関する研究

~福島県南相馬市の語り部たちを事例に~

石山 雄貴(学習院大学)

10:45~11:10 「社会教育」は持続可能か?

-社会教育の公共性とSDGsに関する考察

田中 治彦(上智大学)

(討議  $11:10 \sim 11:30$ )

#### 第 11 室 午後 地域•地域問題

3階306講義室

司 会 上田 孝典(筑波大学)

12:30~12:55 台湾における「新住民」の教育支援

肖 蘭 (北海道大学)

12:55~13:35 基礎教育保障システムの構築に向けた日韓共同研究(その1

- ○添田 祥史(福岡大学)、金 侖貞(首都大学東京)、
- ○長岡 智寿子(日本女子大学・学術研究員)、

新矢 麻紀子 (大阪産業大学)、

棚田 洋平(一般社団法人部落解放・人権研究所)、

肥後 耕生(豊岡短期大学)、森 実(大阪教育大学)

13:35~14:00 外国につながる子どもの支援における外国人支援者参加の可能性

高梨 宏子(東海大学)

### 会場校企画

#### 「やんばるの地域課題と社会教育」

14:45~16:45 サクラウム3階 大講義室 A

司 会 末本 誠(湊川短期大学長)

基調報告 「やんばると地域の大学」

山里 勝己(名桜大学長)

報告① 「名護のまちづくり、地域づくり」

稲嶺 進(前名護市長)

報告② 「沖縄の文化資源と地域づくり」

島袋 正敏 (元名護博物館長)

報告③ 「『やんばるのムラ・シマ講座』の活動」

石野 裕子(今帰仁村歴史文化センター長)

### 総会

17:00~18:30 サクラウム3階 大講義室B

### 懇 親 会

18:45~20:45 サクラウム6階 スカイホール A

#### 第3日目 10月7日(日)

### プロジェクト研究

「ワークライフバランス時代における社会教育」

9:30~12:00 講義棟1階 110 講義室

テーマ 「社会教育はワークライフバランス時代にどのような意義を持ちうるか(1) ジェンダーの視点から

司 会 井口 啓太郎(文部科学省)、河野 和枝(北星学園大学)

報告① 「『ジェンダーと社会教育』のこれまでとこれから」

冨永 貴公(都留文科大学)

報告② 「非正規シングル女性たちの労働・生活問題」

野依 智子(福岡女子大学)

報告③ 「生活者としての父親たちの学びと新しい価値の創造」

吉岡 亜希子(北海道文教大学)

コメンテーター 南出 吉祥(岐阜大学)

### 特別企画

「公立社会教育施設の所管問題をめぐって」

9:30~12:00 講義棟 1階 109 講義室

司 会 村田 和子(和歌山大学)

報告① 「公立社会教育施設の所管問題とは何か」

長澤 成次(千葉大学名誉教授)

報告② 「中央教育審議会生涯学習分科会の議論から」

山本 健慈(国立大学協会)

報告③ 「図書館研究の立場から」

山口 源次郎 (東京学芸大学)

### エクスカーション

13:00~17:00

#### 解 説 比嘉 久(名護市教育委員会文化課長)

#### 【スケジュール】

12:50 集合(名桜大学内)

13:00 出発

13:20 屋部公民館着(下車)

公民館・アサギ・アサギ広場・ノロ殿内等を見学、「屋部の八月踊り」の解説あり

13:50 屋部公民館発

「屋部の久護家」とフクギの集落を通り、名護市街地へ

14:10 名護博物館着(下車)

博物館見学

14:40 名護博物館発

辺野古基地ゲート前を通過して、辺野古の海へ

15:05 辺野古の海着(下車)

辺野古基地問題と文化財調査の解説、他

15:30 辺野古の海発

沖縄自動車道官野座インターから那覇空港へ

17:00 那覇空港着 (予定)

※参加費 3.000 円 (要事前申込み)

### ラウンドテーブル

13:00~15:00 講義棟

#### ラウンドテーブル①

2階 201 講義室

テーマ: 「日韓学術交流の新たなる 10 年に向けて」

コーディネーター 秦 範子(都留文科大学・非常勤)

野元 弘幸(首都大学東京)

報告 堀 薫夫(大阪教育大学)

松尾 有美(東京大学大学院)

ラウンドテーブル2

2階 205 講義室

テーマ:「勤労者を対象としたメディア社会教育の『受け手』研究」

コーディネーター 長崎 励朗(桃山学院大学)

報告 花田 史彦(京都大学)

木下 浩一(京都大学大学院)

#### ラウンドテーブル3

2階 209 講義室

テーマ: 「日本社会教育学会における男女共同参画・若手支援の現状と課題(1)

- GEAHSS 加盟を記念して-

コーディネーター 村田 晶子(早稲田大学)

報告 「沖縄県における女性研究者の現状と課題」

大城 智美(沖縄女性研究者の会)

#### ラウンドテーブル4

2階 210 講義室

テーマ:「人口減少社会における住民の学習権保障に向けた社会教育財政構造に関する研究」

コーディネーター 田開 寛太郎(松本大学)

報告 石山 雄貴(学習院大学)

現場の声

#### ラウンドテーブル(5)

2階 211 講義室

テーマ:「障害者と社会教育をめぐる意見交換ワークショップ

-実践・政策・研究の論点整理に向けて-」

コーディネーター 池田 法子(足利短期大学)、小林 洋司(日本福祉大学)

島本 優子(徳島市役所)、橋田 慈子(筑波大学大学院)

正木 遥香(大分大学)、松田 弥花(高知大学)

向井 健(松本大学)

話題提供兼ファシリテーター

津田 英二(神戸大学)

井口 啓太郎(文部科学省障害者学習支援推進室)

#### ラウンドテーブル6

2階 212 講義室

テーマ:「労働・家族と女性の学習:戦時の経験から『女性活躍』時代を問う」

コーディネーター 亀口 まか (龍谷大学)

辻 智子(北海道大学)

報告 亀口 まか (龍谷大学)

辻 智子(北海道大学)

コメンテーター 冨永 貴公(都留文科大学)

#### ラウンドテーブル⑦

3階301講義室

テーマ:「Pokémon GO による地域の発見と課題」

コーディネーター 瀧端 真理子(追手門学院大学)

報告 圓田 浩二 (沖縄大学)

瀧端 真理子 (追手門学院大学)

#### ラウンドテーブル®

3階302講義室

テーマ: 「子どもに関わる大人の学び 一親のエンパワーメントを支える関わりをさぐる」

コーディネーター 河野 和枝(北星学園大学)、大坂 祐二(名寄市立大学)

榊 ひとみ (函館短期大学)、相戸 晴子 (宮崎国際大学)

井上 大樹 (札幌学院大学)

報告 河野 和枝(北星学園大学)、相戸 晴子(宮崎国際大学)

榊 ひとみ (函館短期大学)

#### ラウンドテーブル9

3階 304 講義室

テーマ: 「SDGs と社会教育(5)」

コーディネーター 岩本 泰 (東海大学)

報告 續 洋子(特定非営利活動法人1万人井戸端会議 副代表・事務局長)

大島 順子(琉球大学)

#### 日本社会教育学会 編

# 日本の社会教育

61 集 子ども・若者支援と社会教育

60 集 社会教育研究における方法論

59 集 社会教育としての ESD 持続可能な地域をつくる

58 集 アイヌ民族・先住民族教育の現在

57 集 労働の場のエンパワメント

56 集 社会教育における評価

55 集 学校・家庭・地域の連携と社会教育

54 集 教育法体系の改編と社会教育・生涯学習

53 集 自治体改革と社会教育ガバナンス

52 集 〈ローカルな知〉**の可能性** 



本体 2,900 円 + 税

### ⑤ 東洋館出版社

〒113-0021 東京都文京区本駒込5丁目16番7号 TEL: 03-3823-9206 FAX: 03-3823-9208 URL: http://www.toyokan.co.jp



#### 参加者募集中!!

私たちのまわりには地域課題、生活課題があふれています。その課題を解決しているためにも青年団だけではなづくく援者をはじめあらゆる立場で地域づくくの現場に関わる人たちと連携しているとが重要です。そこで今年度も実行委員会を組織し、今一度「ふるさと」うったとはないない。みなさんの参加をお待ちしております。

#### <u>Rebornこころのふるさと</u> フォーラム2019

期 日 2019年3月2日(土)~3日(日)

会 場 日本青年館

参加費 3,240円

主 催 日本青年団協議会(日青協)

(一財) 日本青年館

「Rebornこころのふるさとフォー

ラム2019実行委員会|

詳 細 日青協まで(03-6452-9025)



#### 講座 転形期の社会教育 シリーズ

I 社会教育の基礎 ――転形開い 社会教育を考える

■松岡廣路・鈴木眞理・松橋義樹 編著

定価2700円

Ⅱ 社会教育の連携論 □社会教育の -社会教育の固有性と

●鈴木眞理・伊藤真木子・本庄陽子 編著

定価2484円

社会教育の Ⅲ 社会教育の施設論

空間的展開を考える ●鈴木眞理・井上伸良・大木真徳 編著

定価2484円

社会教育がめざす Ⅳ 社会教育の学習論 人間像を考える

定価2484円 ●鈴木眞理・青山鉄兵・内山淳子 編著

V 社会教育の公共性論 ―社会教育の 制度設計と評価を考える ●鈴木眞理・稲葉隆・藤原文雄 編著

VI 社会教育・生涯学習研究のすすめ ―社会教育の研究を考える

●津田英二・久井英輔・鈴木眞理 編著

定価2700円

#### 未来を拓く子どもの社会教育

■上杉孝實·小木美代子監修/立柳聡·姥貝荘一編著 定価3240円

教育老年学と高齢者学習

●堀董夫編著

定価3024円

http://www.gakubunsha.com

現代生涯学習と社会教育の自由

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1

住民の学習権保障と生涯学習・社会教育法制の課題

●長澤成次編

定価2484円

学文社

LGBTと女子大学 誰もか自分らしく輝ける大学を目指して ●日本女子大学人間社会学部LGBT研究会 編 定価1080円

女性の視点でつくる社会科授業

●升野伸子・國分麻里・金玹辰 編著

定価1944円

社会変容をめざすESDヶアを通した自己変容をもとに ●曽我幸代 著 定価3780円

SDGsと環境教育

地球資源制約の視座と持続可能な開発目標のための学び

●佐藤真久・田代直幸・蟹江憲史 編著

定価3240円

SDGsと開発教育 持続可能な開発目標のための学び ●田中治彦・三宅隆史・湯本浩之 編著 定価3240円

学校学力から生涯学力へ 変化の時代を生きる

●前田耕司·佐藤千津編著 定価1836円

多文化・多民族共生時代の世界の生涯学習

●岩﨑正吾 編著 定価2376円

講座 現代学校教育の高度化 6

生涯学習と学習社会の創造

●佐藤晴雄·望月厚志·柴田彩千子著 定価2268円

テキスト生涯学習 【新訂版】

学びがつむぐ新しい社会

●田中雅文·坂口緑·柴田彩千子·宮地孝宜 著

定価1836円

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012 E-mail: eigyo@gakubunsha.com

#### 子どもと先生の苦しみに向き合う 内田良著

教育課程外の活動である部活動は、本来教 員の業務ではない。にもかかわらず、「教師 が部活顧問をするのは当然」と見なされ、 強制的に割り振る学校が大半。早朝から夜 まで、土日も休まず活動する部活動は多い。 また、自主的な活動である部活動への「全 員加入」を強制する自治体・学校も少なく ない。「教育」「子どものため」という題目 の裏で何が起きているのか。統計データや 子ども・教師の声の解釈から、部活動のリ アルと、部活動を取り巻く社会の構造が見 えてくる。本書は、双方がほんとうに自発 的で、過度の負担のない部活動へ向かうこ ために、現状をエビデンスに基づいて正し く見通し、悩み苦しむ子どもや先生の声に 耳を傾けた。



本体価格 1,400 円 + 税

## 〈つながり〉の 社会教育•生涯学習

一持続可能な社会を支える学びー

手打明敏・上田孝典 編著

1章: 生涯学習政策における連携・協働・ネッ トワーク、2章:住民の学びと地域づくり、 3章:住民主体の地域運営と公民館、4章 地域共同体における社会関係資本の形成、 5章:学校と地域の協働関係づくりの方策、 6章: 若者にとってのたまり場・居場所、 7章:多文化共生の地域づくりへの取り組 み、8章:地域の自治創出を志向する住民 の学び、9章:地域福祉を支える担い手と その学び、10章:障害者の地域における自 立を支える親の役割、11章:労働と生活の 分断を乗り越えるための学習、12章:リテ ラシーの学びと実践、、13 章:人口転換に 対応した新たなコミュニティ施設創造の試 み、14章 コミュニティ学習の場の創造、 15章 現代中国都市コミュニティにおける 社会団体活動の展開、16章 現代中国社会 における少数民族文化の継承の課題



本体価格 2,300 円 + 税

### ① 東洋館出版社

**70**周 東洋館出版社

〒113-0021 東京都文京区本駒込5丁目16番7号 TEL: 03-3823-9206 FAX: 03-3823-9208 URL: http://www.toyokan.co.jp

# 公民館はだれのもの

#### 長澤成次著

#### ▶住民の学びを通して自治を築く公共空間

公民館に首長部局移管・指定管理者制度はなじまない。社会教育施設の再編を背景に、学び の自由と自治が根本から脅かされている。こうした状況をつぶさに分析して住民主体の地域 社会教育運動の視点からあらためて公民館の可能性を追求する。 定価(本体 1800 円+税)





定価(本体 1800 円+税)

・生涯学習研究所 監修/岡庭―雄・細山俊男・辻浩 編

南信州・阿智村の、住民が自由に協同する「小さな 自治」と、一人ひとりの人生の質を高める「学び」 の場としての公民館、そして住民の協同を行政が支 える「協働」の実際を紹介する。持続可能な地域づ くりの哲学がここにある。

第1章 村をつくる住民の活動の広がり

村をJくる住民の活動の広かり 若い世代の参加と創造性の発揮 一人ひとりの人生の質が高められる村をめざして 自治をつくる学びと協働 住民主体の村をつくる 持続可能な地域づくりと子育て・学校・若者 第2章第3章

第4章 4 - 1

4 - 2

4 - 3

住民の学びと公務労働 「地域づくり」―それは人びとが豊かに育つこと

162-8512 東京都新宿区矢来町 123 矢来ビル 4F Tel 03-3235-5941 Fax 03-3235-5933

内容目次

http://www.jichiken.jp/ E-mail info@jichiken.jp

最新刊 最新刊 最新刊 最新刊 最新刊

最新刊

め、国福本教教

一社会科·公民科 一社会科·公民科 未来を開く 社会科 アセ 馬場智子著 人友秀明·桐谷正

会を創る 、教育の社会学 題

―コンゴの紛争資源問題と消費者の責任

A5·上製·三八四頁·三九〇〇円 A5·上製·二〇八頁·二四〇〇円 す

貫の

)政治学習

A 5·上製·五二〇頁·六五〇〇円

〒 113-0023 東京都文京区向丘 1-20-6 http://www.toshindo-pub.com

A5·並製·二七二頁·二五〇〇円

- シップ教育の実践 - 協働によるシティズン

大澤克実・松尾直博・東條憲 児玉奈々著 イングランドの

河合塾編著 実践から考える金 全国大学調査からみ キュラム改革にみる国民意識の形成に着目し えてきた現状と課題 シティズンシ 0 ッ

フ教育政策の展 並製・二六四頁・二四〇〇円

A 5 · 並製 · 四七二頁 · 三八〇〇円

刀格差拡大の社会学的研 A5·上製·一七六頁·二四〇〇円

実態調査、思想、認識論からのアプローチ (5・上製・二七二頁・二七〇〇円 「学力調査結果の示すもの」 小中学生への追跡的

、教育の世界で何が起こっているか、それは正しい道かを俯瞰的、民教育から経済成長に資する能力を重視する教育へと、世界中が1日副光著 AS-上記 大四頁・六二〇〇 教育の原理

TEL03-3818-5521 FAX03-3818-5514 Email tk203444@fsinet.or.jp [価格税別]

六頁・二八〇〇円

A5·上製·二三二頁·三二〇〇円

―移民社会が目指す教育

、権教育政策の理論と実践

A5·上製·二〇〇頁·二八〇〇円

な文化との関係 人権と伝統的多様

ノ共同体の市

ーパワー・アート・ライフコース

A 5 · 上製 · 三五二頁 · 三七〇〇円

A5·上製·三四四頁·三二〇〇円

#### 東京高裁判決(2018年5月18日)に合わせて緊急出版!

## 九条俳句訴訟と公民館の自由

佐藤一子·安藤聡彦·長澤成次(編著) A5判·176頁 本体価格1,800円+税

好評発売中

2014年6月に選ばれた「梅雨空に『九条守れ』の女性デモ」という俳句が不掲載となった。「集 団的自衛権の問題で世論が二分されており、掲載にふさわしくないしというのがその理由である。 俳句作者は2015年6月にさいたま地裁に提訴し、勝訴判決、さいたま市はこれを不服として控訴、 そして2018年5月18日に東京高裁は勝訴の判決を出した。

地域住民が「憲法」「平和」「政治」などのテーマで活動する際に、自治体職員や地方公務員 がどのように対応すべきか、その判断基準となる裁判。現代日本社会の言論、文化、教育・学習の 自由をめぐる問題に対してどう考えるか、一石を投じる書籍である。



- 「平和について考える」等をテーマにした市民活動や表現活動に対して、自治体の 後援が得られない、公民館の使用許可が下りないなどのケースが増えてきている。
- 「このような市民活動や表現の展示を認めてしまうと公民館の政治的中立性を損な うので使用を認めることはできない」といった使用拒否の理由は正しいのか?
- 「大人の学習権」とはどのようなものか。大人の学びを保障するための職員体制、 自治体公務員の住民対応力には何が求められるか?

【第I章】九条俳句不掲載—何 目次 が問題か?─/【第Ⅱ章】九条俳 句不掲載損害賠償等請求事件 の原告主張と地裁判決/【第Ⅲ章】九条 俳句訴訟の争点と課題/【第Ⅳ章】社会

教育施設の学びの自由を守るために

【資料】判決文(全文)/他

### エイデル研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-9 TEL:03-3234-4641 FAX:03-3234-4644

#### 創刊号から3年、子どもNPOの動きを総括

# 子どもNPO白書2018

#### 特定非営利活動法人 日本子どもNPOセンター

「子どもNPO白書」編集委員会(編) B5判·並製/250頁(仮)/本体2,500+税(予価)

創刊号(2015)刊行から3年。現代の子どもの生活や遊びに大きく関わる自然環境や 文化環境はめまぐるしく変化してきている。NPOそれぞれがもつ「ミッション」のため、ま わりの環境や目の前の子どもたちに合わせて変化しつつ、子どもの育ちとともに歩んで きた子どもNPO。全国の子どもNPO活動の全体像を鳥瞰し、全国に点在する子どもN POに活動のヒントを投げかける、理論と実践が詰まった1冊。

第1部:理論編 特定非営利活動促進法成立20年/子ども未来と地球未来/2006年教育基本法改正以降の教育政策/

2016年児童福祉法改正/子どもとSNS/平和·広島の子どもたち/子ども食堂

第2部:実践編 保育・療育/子育て支援団体/学童保育/地域施設/子ども文化/スポーツ・レクリエーション/

プレーパーク/フリースクール/社会的養護/司法福祉/環境/国際的視野

第3部:資料編 特定非営利活動促進法(NPO法)/教育基本法改正前後の比較表/子どもの権利条約/

子どもの権利条例一覧表/IPA(子どもの遊ぶ権利宣言)

### エイデル研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-9 TEL:03-3234-4641 FAX:03-3234-4644

# 日本社会教育学会 第65回研究大会プログラム 2018年8月6日発行

#### 【発行】日本社会教育学会事務局

〒 183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8 東京農工大学農学部環境教育学研究室気付 E-mail:jssace.office@gmail.com http://www.jssace.jp/

#### 【会費等納入先】

ゆうちょ銀行 振替口座 0 0 1 5 0 −1 − 8 7 7 7 3 (口座名:日本社会教育学会) 他金融機関からの振込用口座番号 ○一九 (ゼロイチキュウ) 店 (019) 当座 0087773